

某金属部品会社
葛岡拓也

[近況]

私は松本研究室でマイクロ移動体の研究をさせていただきました。そして卒業後、金属部品の技術開発、性能試験に関わる部署で働いています。先輩方は殆どが機械系、材料系の学部出身であり、化学出身の私は勉強の毎日です。



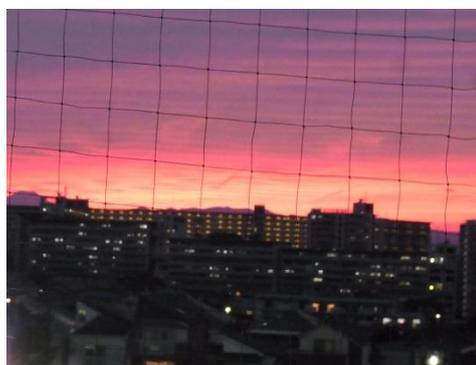
2015年3月学会ポスター発表

研究内容と仕事内容が全く合致していませんが、分析機器等の扱いにおいては卒業研究の中で使用したものが多いため化学の知識が役立っています。このことから、一見畑違いの分野であっても化学出身の人材は多くの場で必要であると思います。

入社後、私は栃木県の製造現場で半年間以上、住み込みで研修を受けました。初めて見る道具、機械に囲まれ、製造に関する知識を詰め込みました。現在は東京の本社において化学分析担当として本格的に分析の仕事を始めただけです。

[学生さんへ]

私が卒業研究を行っていた頃、研究室のメンバーのほぼ全員が朝早くから夜遅くまで、研究に取り組んでいました。今思い返せば、ハードな生活だったと感じますが、卒業研究発表の日、実験データや発表資料、質疑応答の態度などにおいて、頑張った人とそうでない人の差は当時の私でも何となく感じとることができました。



松本研究室からの夕焼け

そして入社後、社内の発表資料などにおいて、改善すべき点を発見することがありました。(新社員なので、意見できませんでしたが...)卒業研究は研究内容だけでなく、プレゼンや資料作成など自分の想定外のスキルが身につくため、真剣に取り組むべきだと思います。周囲の研究室等には真剣に取り組まない人達が多々いるとは思いますが、最後には必ず大きな差が開くので、このようなことを考えながら頑張ってください！